

梅棹忠夫著作目録（1934-2008）

雑誌名	国立民族学博物館調査報告
巻	86
ページ	61-601
発行年	2009-06-01
URL	http://hdl.handle.net/10502/00008621

第2部

梅棹忠夫著作目録 (1934-2008)

凡 例

1. この目録は、1934年12月から2008年12月31日までのすべての著作を収録した。
2. 配列は、刊行年月日順による。刊行時のおなじものは、所載刊行物の刊行間隔のみじかいものをさきにした。日、月の確定できない場合は、各月、各年の末尾に配列した。
3. 各項目の記載事項は、整理番号、標題、①かかわりあいかた、②所載刊行物名、③刊行時、④発行所、⑤所載ページ、⑥著作集収録巻、および項目相互の照合のための註記である。
4. 整理番号は10桁で表示した。最初の4桁は西暦による刊行年、つぎの4桁は刊行月日、最後の2桁は同日内のおし番号をあらわす。たとえば、1977030405は1977年3月4日刊の5番目をあらわす。
5. 標題は、主題をゴシック体で、副題を明朝体で表示した。原典にはとくに標題を付さぬものがある。その場合は、(無標題)とし、つづいて文頭の数字文字をしるした。
6. ①かかわりあいかたは、著、共著、編、対談、監修等の別を〔 〕内にしめし、そのあとに著作者名、共同著作者名をしるした。
7. ②所載刊行物名は、新聞・雑誌の場合、コラム・特集タイトル等を「 」でしめし、書籍の場合、全集・シリーズ名等を書名のあとにしるした。また標題が書目の場合は全集・シリーズ名等を、標題が全集名の場合は各巻名を、この事項として記載した。なお、新聞・週刊誌の通巻号数は省略した。
8. ③刊行時は、すべて西暦によって表示した。刊行時が奥づけなどに表示されていないものは、発行所に問いあわせ、その結果を採用した。
9. 標題が書目の場合、⑤所載ページの事項として、判型・ページ数を記載した。
10. 項目相互の照合は、直接的関係のみをしめし、二次以上にはおよばない。たとえば、雑誌掲載論文→論文集→文庫版の場合、文庫版と初出論文との照合はしめさない。
なお、自身の編著書の場合は「収録」、他の編著書の場合は「載録」、同レベルでの関係を「転載」として区別した。
11. 書籍、雑誌、新聞等を『 』で、全集・シリーズ等を「 」でしめた。
12. 記載事項のデータは、原則として所載の奥づけにより、必要に応じて表紙・扉・その他を参考にした。また表示は、原則として所載刊行物にしたがった。ただし、数字はアラビア数字に統一し、字体は固有名詞をふくめ、一部を常用漢字体にあらためている。